

兵庫県保険医協会神戸支部 研究会のご案内

高齢者の精神疾患の対応について

日時 7月22日(土) 17時～

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室

講師 医療法人社団 実風会 新生病院 院長 **みやのき しょう 宮軒 将 先生**

参加費 無料

人口の高齢化に伴い、精神科も高齢者の方の増加が著しい。高齢者+精神科と聞くとまず考えるのが認知症であるが、それ以外にもうつ病など気分障害も多く、様々な身体疾患や処方薬がもたらすせん妄や症状精神病、アルコール症や高齢化した統合失調症など様々な疾患がある。

重要なことは、訴えが明確でないこと、自殺企図を生じるような重症者が多いこと、さらに合併している深刻な身体疾患が精神症状をもたらしている場合もあることである。そのため、診療においては意識障害をもたらす疾患を中心に、血液、画像検査を含めた身体的検索を行い、重度の身体合併症を除外することが必要である。

さらに治療においては身体合併症の対応に加え、精神科治療においては切迫する自殺企図など薬物療法の効果を待てない場合や、副作用の出現で薬物療法を継続できない場合などでは身体療法である精神科電気けいれん療法を切り札として行うことも多い。そして退院後は社会資源を利用した適切なケアを行い、再発を予防することが重要である。

【宮軒 記】

お問い合わせは TEL 078-393-1807 担当：小西・楠(クノキ)まで

【参加申し込み】FAX 返信：078-393-1820

神戸支部研究会「高齢者の精神疾患の対応について」(7/22)

市・区・郡	医療機関	電話
氏名：	医師・歯科医師・薬剤師・看護師・その他()	
氏名：	医師・歯科医師・薬剤師・看護師・その他()	
氏名：	医師・歯科医師・薬剤師・看護師・その他()	

兵庫県保険医協会

302号 2017年6月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

研究会「めまいのリハビリテーション」

実践踏まえめまいへの理解深まる



(左) 映像に合わせながらめまいリハを行う参加者たち (右) めまいリハのメリットを説明する新井先生

神戸支部は6月10日、協会会議室で研究会を開催した。横浜市立みなと赤十字病院めまい平衡神経科部長の新井基洋先生が「めまいのリハビリテーションと治療薬の選択について」をテーマに講演し、医師・歯科医師や薬剤師、看護師ら59人が参加した。

新井先生は、めまいの診療と改善のため実践しているリハビリテーション、および漢方薬を

含めた治療薬の選択について説明。新井先生が行うめまいのリハビリテーションはめまい症状のみならず不安や抑うつ状態、QOLの改善も認めていることを実際の映像を交えながら解説した。

また、映像に合わせながらめまいのリハビリテーションに参加者と一緒に行い、会場は盛り上がった。

連携して地域の患者さん支えたい

中央区 武富整形外科 武富雅則先生

中央区で昨年5月に武富整形外科を開業した武富雅則先生。三宮にある医院を宮武博明支部幹事が訪れ、開業医に至った思いやこれからの抱負などを聞いた。



地域医療の醍醐味や苦労について話した

過酷な勤務に開業を決意

宮武 先生は、神鋼記念病院などで勤務医を25年間されていて、昨年開業されたということですが、開業に至るいきさつを教えてください。

武富 神鋼記念病院にいた2015年さまざまな事情が重なり、仕事量が一気に増え、左の顔面神経麻痺になりました。さらに、40度の熱で手術場で倒れてしまい…限界だと思いました。

宮武 酷な話ですね…。

武富 それで、患者さんには淡路や姫路など遠方の方も多かったので、アクセスのいい三宮で開業することを決めました。

宮武 開業されてからの1年間を振り返って、いかがですか。

武富 実際に開業してみると、自分の理想像との乖離が大きかったですね。勤務医時代と違って医療だけを考えるというわけにはいかず、税務や労務なども考えなければなりません。今から開業する先生には、「開業はよく考えて」と言いたいです（笑）。毎日大変ですが、患者さんも増え出して、ようやく最近、先が見通せるようになってきました。

協会には大変お世話になっています。学術研究会のほか、労務や税務、保険請求などいろいろな勉強会、新規個別指導のサポートなど、分からないことばかりのなか助かりました。他にも、患者負担増反対の署名をされ、図表やクイズなどを使ってPRされていてすごいと思います。

宮武 協会をたくさんご利用いただき、ありがとうございます。（3面につづく）

支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

☎078-393-1809/FAX078-393-1802 e-mail maekawa-h@doc-net.or.jp

神戸支部担当前川まで

診療科・職種超えた連携を

宮武 三宮駅北側で開業というと、患者さんもこれまでとは違いがありますか。

武富 患者さんの年齢層が下がりましたね。近くのお店の従業員の方が、肩こりや腰痛などで来られることが多く、物療で定期的に通われる方というより、「仕事は休めないから、今すぐこの痛みを何とかしてほしい」という新患が多く、病院の頃との違いを感じます。

宮武 一般的な整形外科とちょっと違う感じですね。ご専門はリウマチということですが。

武富 はい。内科と整形外科で連携しようと、月2回、神戸大学の膠原病リウマチ内科の先生に来てもらい、同大学の笠木伸平先生と一緒に兵庫リウマチチーム治療研究会を行っています。看護師さんや薬剤師さんたちと一緒に多職種でどう連携するかを考えています。

これからは、もっと地域の住民の方々や医療関係者と顔が見えるような関係を作りたいと考えています。患者さん向けの教室を積極的に開催したり、在宅医療も行っていますので患者さんのリハビリにももっと関わっていきたいと思っています。

宮武 確かに、在宅でのリハビリでは、整形外科の先生に診ていただくことが大事ですね。最後に一言お願いします。

武富 開業し1年ですが、他の診療科、職種の方々や連携する場が必要だと感じています。そのなかで、協会の日常診療経験交流会が気になっています。

宮武 ぜひとも今年、分科会で演題をご発表いただきたいですね。本日はありがとうございます。

【武富雅則先生ご略歴】1964年大阪生まれ。91年滋賀医科大学卒業。99～2003年京都大学医学部大学院医学研究科入学、卒業。吉川病院や京都大学付属病院、市立岸和田市民病院などでの勤務を経て、07～16年神鋼記念病院整形外科部長。2016年5月～武富整形外科開業



診療の内容などで話が弾んだ

開業医手作り
月替わり健康情報

健康情報テレホンサービス

☎0120-979-451

【2017年6月のテーマ】

- 月曜日 子どもの言葉の遅れ
- 火曜日 歯の定期検診のすすめ
- 水曜日 高血圧治療の新しい考え方
- 木曜日 突然おしっこがしたくなる病気
- 金土日 パニック障害とは

【2017年7月のテーマ】

- 月曜日 緑内障
- 火曜日 喉頭がん、舌がんのはなし
- 水曜日 外反母趾は予防が大切
- 木曜日 睡眠時無呼吸症候群に要注意！
- 金土日 乾癬